毎月１日・１５日発行

道新りんご新聞

2016/4/1 金曜日 創刊号

道新りんご　検索

制作元：北海道新聞永田販売所

道新りんご新聞 ラジオ版：FM アップル（76.5Mhz）にて毎月第３木曜日 午前 10 時～放送中

発行元：北海道新聞永田販売所・北海道新聞多畑販売所・道新いかわ・北海道新聞谷販売所

創刊のごあいさつ

早いもので、東日本大震災から５年の月日が流れました。災害時、最も必要とされるのは、ふだん私達が暮らしている地域の情報です。平時には地域の文化の発展に貢献し、非常時には地域の安全を守るお手伝いをする・・・これが本日創刊した「道新りんご新聞」の目的です。平岸地域に特化した防災・歴史・生活情報をお届けいたしますので、お付き合いいただければ幸いです。

平岸防災～明日に備えて～

直径５ｍを超す巨大シールドマシンが、平岸～澄川地区の地下深くを掘り進めようとしている。北海道空知総合振興局札幌建設管理部が主体となり、望月寒川の洪水被害を抑える放水路トンネル掘削工事が来年４月いよいよ始まる。

繰り返されてきた望月寒川のはん濫―高まる洪水リスク

望月寒川は、札幌市内でも、度々洪水を起こしてきた“暴れ川”だ。２年前の９月１１日、道央地方を襲った集中豪雨でも、美園地区で川がはん濫。普段は、深さ数十 cm 程度の小さな川だが、大雨のたびに氾濫を繰り返してきた。望月寒川は、昭和５０年代の河川改修工事により、直線化され、川底も掘り下げられた。しかし、その後の宅地化の進行により土地の保水力が弱まり、大雨の際、短時間で増水するようになった。

加えて、近年「ゲリラ豪雨」と呼ばれる、短時間に局所的な大雨が、日本各地で多発するようになった。豊平川などの大きな河川の場合、川幅が大きく、川底も深いので、水位は比較的穏やかに上昇する。これに対し、望月寒川などの中小河川の場合、川幅が狭く、川底も浅いため、急激に水位が上昇し、短い時間で溢れる場合があるという。



未明の雷雨 道都混乱

90万人に避難勧告

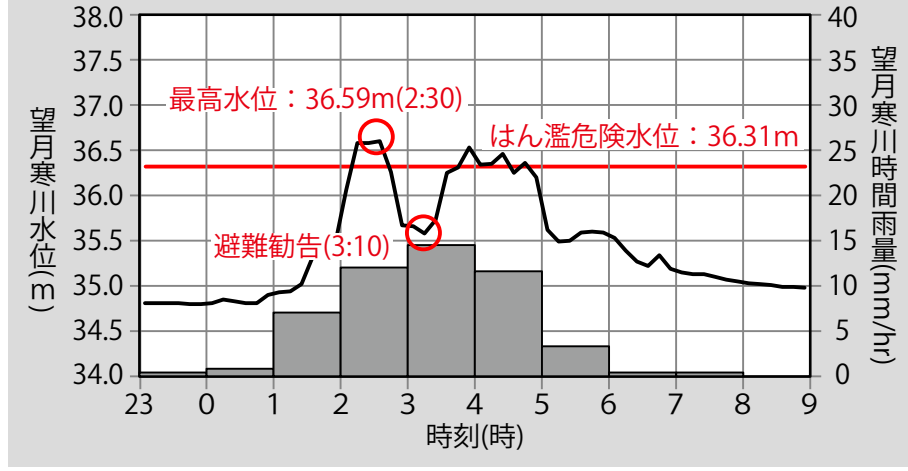
玄関前が濁流 孤立

大雨の影響で望月寒川が氾濫。近隣住民が消防隊員の指示で難を逃れる＝11日午前4時6分、札幌市豊平区美園4の8

２年前の札幌豪雨を伝える北海道新聞（2014 年 9 月 11 日夕刊 13 面より）。写真は、大雨の影響ではん濫した望月寒川。

2014.9.11 札幌豪雨 その時何が起こったのか？

2014 年の集中豪雨のときには、本格的に雨が降り始めてからわずか２時間たらずで水位が３㍍以上も急上昇し、はん濫危険水位に達していたことが、月寒公園内にある望月寒川観測所で記録されている。はん濫危険水位に達したのは午前 2 時 15 分頃で、札幌市が最初に避難勧告を発令した午前３時 10 分よりも１時間ほど早く、想定外の速さで増水したことがわかる



地域交流サロン
ぴらけし
平岸まちづくり協議会
■住所／札幌市豊平区平岸３条５丁目
■TEL／011－815－7005
■営業日時／月～金 １０時～１６時



地域交流サロンぴらけしは色々なことができます！
❶みんなが自由に出入りできます
❷美味しいコーヒーが飲める☆
❸地域の情報満載！
❹レンタルスペースとしても利用できる！
❺色々なイベントも開催



学校法人経専調理製菓専門学校の生徒の皆さんのお菓子

都市（まち）づくりの担い手として。
所有物件
・平岸グランドビル（本館）
・平岸グランドビル（新館）
・第2平岸グランドビル
・第3平岸グランドビル
・第5平岸グランドビル
・マインコーポ平岸
・ポミエーレ平岸
・平岸グランドビル別館
管理物件
・ラ・ボム平岸
株式会社 平岸グランドビル
不動産賃貸業（貸ビル・賃貸住宅・ビル管理・駐車場）宅地建物取引業
本社／〒062－0933 札幌市豊平区平岸３条５丁目４番２２号
TEL：011－831－4040 FAX：011－821－9871
URL：http://www.hgb.co.jp E-mail：info@hgb.co.jp

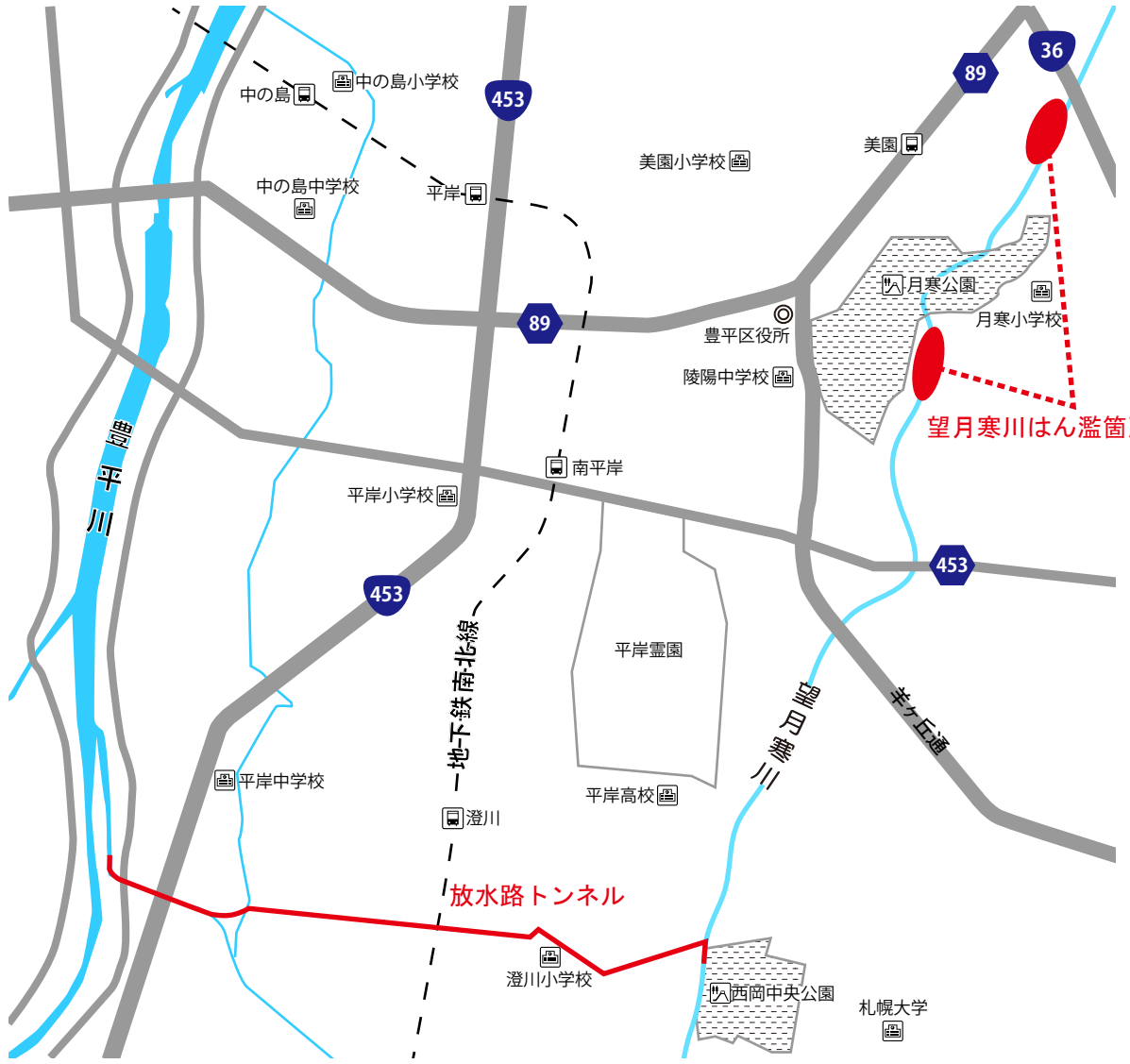
豊平の皆さんと友に地域の安全・安心・活性化を目指しさまざまな情報を発信するコミュニティラジオ局です。
豊平区平岸のスタジオから、お役立ち情報や地域に密着した話題を盛り込んだ豊富な情報を個性あふれるパーソナリティが毎日お送りしています。
76.5MHZ
FMRadio Station APPLE

治水対策は、川幅を拡げて川に流れる水量を増やすか、堤防をかさ上げして溢れないようにする方法が一般的だ。しかし、空知総合振興局吉田安範治水課長によれば、望月寒川の場合、周囲を住宅街に囲まれているため、川幅確保のためのスペースが少なく、どちらの方法も採用しづらい事情があるという。

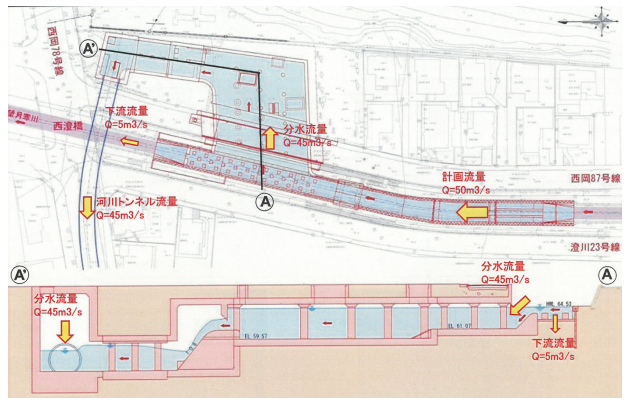
台地をくり抜く地下トンネル

そこで、生まれたアイデアが地下放水路トンネルだ。月寒公園より約２ km ほど上流の望月寒川右岸に位置する西岡中央公園をトンネルの入り口とし、ここから西に澄川～平岸地区の市道の地下を通り、ミュンヘン大橋のたもとにある精進川放水路脇から豊平川へ注ぐ全長 1.9km におよぶ地下放水路を掘る計画だ。大雨により水位が上がると、放水路の入り口の堰を越えた水が、地下放水路に誘導され、後は自然の落差で精進川放水路脇から豊平川へ流れ出る仕組みだ。

トンネルは、出口の精進川放水路脇から直径５ m を超すシールドマシンを入れ、市道の約 10m 下を掘り進みつつ、同時に内壁を構築。最終的に、西岡中央公園脇まで掘り進める予定だ。放水路トンネルの供用開始は、平成 31 年度末を予定している。　（伴野卓磨）



2014 年の札幌豪雨時の望月寒川はん濫箇所と放水路トンネルのルート



西岡中央公園脇のトンネル入口完成予想図。大雨で水位が上がると、入り口の堰を超えた水がトンネルへ流れ落ちる仕掛け。



精進川放水路脇の放水路トンネル出口。ここからシールドマシンを入れ、望月寒川まで掘り進める予定だ。

